

田辺市 木づくり構想

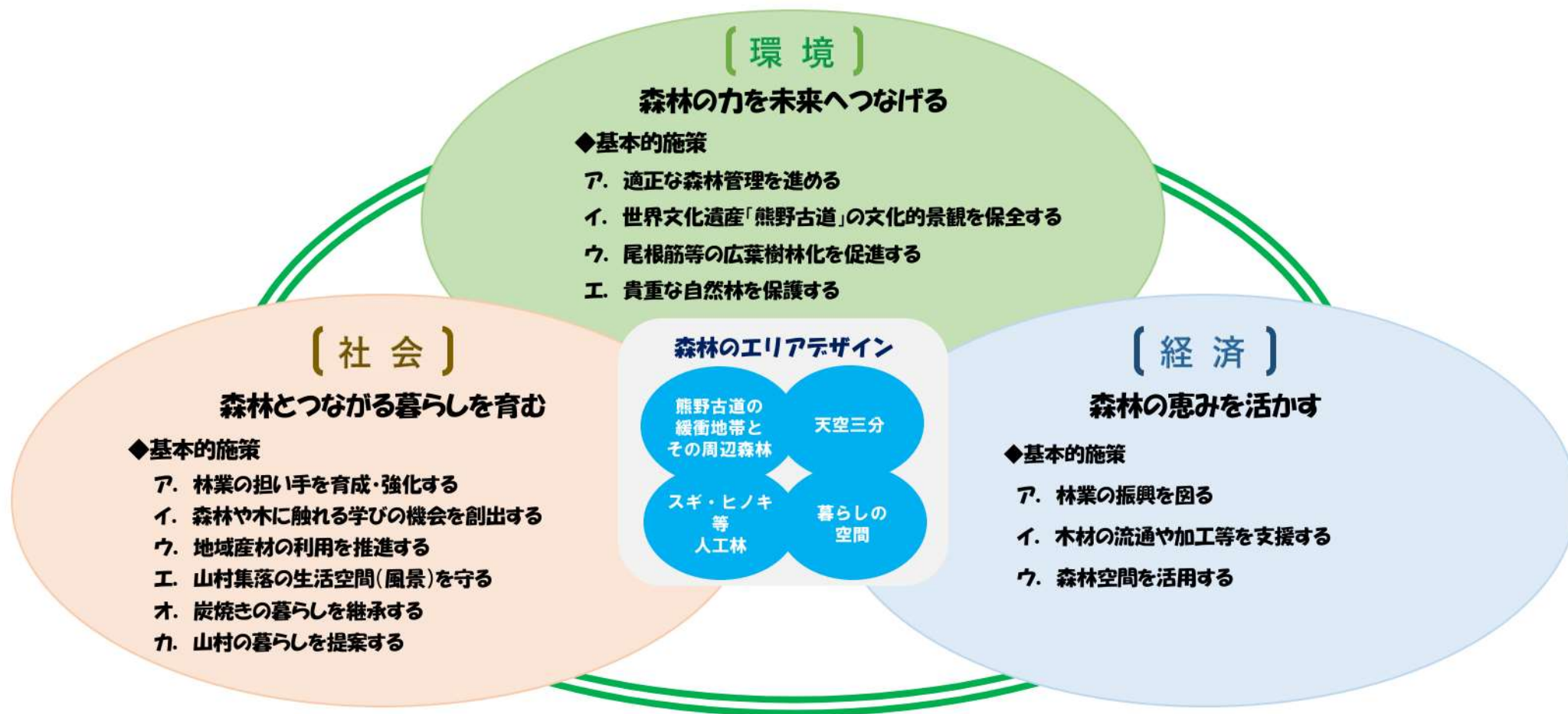


和歌山県田辺市

田辺市森づくり構想

基本理念 恵みへの感謝と、守り・はぐくむ誇りを胸に、森林の力を未来へつなぐ

将来像 森林と人との共生が紡ぐ、ていねいな暮らしの息づく山村風景



田辺市森づくり構想の推進

環境

森林の力を未来へつなげる

適正な森林管理
(公益的機能の発揮)

森林経営管理制度の運用
(森林所有者への経営管理意向調査、経営管理(森林整備))
林業専門職員の雇用
林地残材等利用促進事業

天空三分の推進

よみがえりの森づくり事業
(上部三割の広葉樹への転換を支援)

世界文化遺産
文化的景観の保全

熊野古道の森保全事業(緩衝地帯の公有化・森林整備等)
森林環境教育推進事業

令和6年度

※赤字は新規実施事業

社会

森林とつながる暮らしを育む

林業担い手の
育成・強化

森林の育てびと育成・確保対策事業
森林整備担い手確保対策事業
社会保障制度等充実対策事業

学びの機会創出

森林環境教育推進事業【再】
企業の森

地域産材の
利用促進

新庁舎等公共施設の木造・木質化
小中学校普通教室の床・学校机天板の木質化
木のやさしさや温もりを感じることのできる空間づくり
木のぬくもりプレゼント事業
田辺市紀州材使用住宅支援事業
民間施設木造木質化支援事業

生活空間の保全

集落支援員の配置
里山生活空間保全事業
里地景観保全事業
景観と安全を守る山村集落森林整備事業

炭焼きの暮らし継承

紀州備長炭後継者育成
山村地域力再生事業(施設整備等)

山村の暮らし提案

移住相談窓口の設置、空き家改修支援、起業支援等

経済

森林の恵みを活かす

林業の振興

森林経営管理制度の運用【再】
(施業地の集約化、経済的付加価値の向上)
間伐等実施事業
林業機械生産力高度化支援事業
林業・木材産業構造改革事業
恵みのやまづくり事業(植栽)
作業道開設等奨励事業、山の基盤機能回復事業
特産品生産奨励事業、山村地域力再生事業【再】
和歌山県森林クラウドシステムへの参画

流通・加工等支援

林地残材等利用促進事業【再】
原木市場入札システムの運用(西牟婁共販・龍神共販)

森林空間の活用

持続可能な観光地づくり推進事業
森林環境教育推進事業【再】

令和6年度 森林環境譲与税活用事業

※赤字 新規実施事業

No	事業名等	関連課室	概 要	決算見込額
1	田辺市森づくり構想策定等委員会の運営	森林局	森づくり構想の施策展開等を推進し、評価検証を行う森づくり構想策定等委員会の運営	128千円
2	森林経営管理制度の推進	森林局	森林経営管理制度に基づく森林所有者への意向調査、森林調査、集積計画作成、私有林の整備及び管理	131,985千円
3	森林の育てびと育成・確保対策事業	森林局	森林経営管理事業を優先的に配分し、林業事業者における作業員の雇用拡大やOJTを通じ、林業従事者の育成や確保を図る	(17,282千円) 森林経営管理制度の推進の内数
4	森林クラウドシステム負担金	森林局	和歌山県森林クラウドシステム参画に係る負担金	400千円
5	森林整備担い手確保対策事業	森林局	森林整備の担い手確保のため、市内の森林組合・林業事業者等に対して、林業の現場に必要な安全対策装備品等の購入や林業の技術・技能向上を図る講習会の受講等に要する経費を支援	1,116千円
6	林業機械生産力高度化支援事業	森林局	エネルギー効率又は生産効率等に優れた省力化機械への転換・導入を支援することにより、木材生産基盤の強化及び経営の安定化を図る	21,206千円
7	林業・木材産業構造改革事業	森林局	林業構造の確立を図るための機械導入を支援することにより、林業の持続的かつ健全な発展を推進	3,433千円 全額R7へ繰越
8	林地残材等利用促進事業	森林局	景観保全、山地災害防止及び林業所得向上を図るため、林地残材等を有効活用する者に対して、事業実施に必要な機械の賃借料等に要する経費を支援	2,596千円
9	紀州材使用住宅支援事業	森林局	林業・木材産業の活性化及び住宅産業の振興を図るとともに、紀州材の温もりのある空間を通じて市民が森林とつながる暮らしを育むため、紀州材を利用した住宅建築や内外装改修を支援	4,025千円
10	民間施設木造木質化支援事業	森林局	紀州材の需要拡大を図るとともに、市民等が木のやさしさや温もりを感じることのできる空間を通じて、森林とつながる暮らしを育む機会を創出	2,108千円
11	景観と安全を守る山村集落森林整備事業	森林局	山村地域の生活環境（景観）改善と安全安心な暮らしを実現するため、地元団体や道路・電線等のインフラ管理者と協力し、集落の人家裏等の森林整備を実施	5,323千円
12	木のやさしさや温もりを感じる ことのできる空間づくり事業	子育て推進課	紀州材で製作した備品を保育所等に配備し、幼少期から木のぬくもりややさしさを肌で感じる ことのできる空間を創出	3,051千円
13	木のぬくもりプレゼント事業	子育て推進課	子供の頃から身近に木のぬくもりを感じ、豊かな心を育む子育てに資するため、11か月児相談 日に紀州材製玩具のプレゼントを実施	1,233千円
14	公共施設等の木造・木質化	新庁舎整備室 観光振興課 教育総務課	新庁舎への木製什器の整備 宿泊施設内の木製柵の改修 小・中学校教室の床及び机（天板）の木質化	70,729千円
15	森林環境教育推進事業	学校教育課	森林の多面的機能について学び、生活や環境、森林との関係について理解や関心を深めるため、 小・中学生を対象に森林学習や森林体験等を実施（R6：小学校16校）	9,001千円
合 計				256,334千円

森林経営管理制度の推進

◆森林所有者への意向調査、森林調査の実施。

管理委託を受けることとなった森林の経営管理権の設定。

◆市が管理委託を受けた森林の整備及び管理（保育間伐等）の実施。

□令和6年度実績

意向調査 6地区 1,522ha

集積計画 118計画 276ha

森林整備（間伐） 161ha

□経営管理権集積計画作成状況

（令和7年5月31日時点で管理権のある森林）

計画数 444 面積 1,153ha

□令和7年度計画

意向調査 6地区 約8,400ha

森林地番図 3地区 約3,600ha

集積計画 6地区 ※R6意向調査実施地区

森林整備（間伐） 約155ha

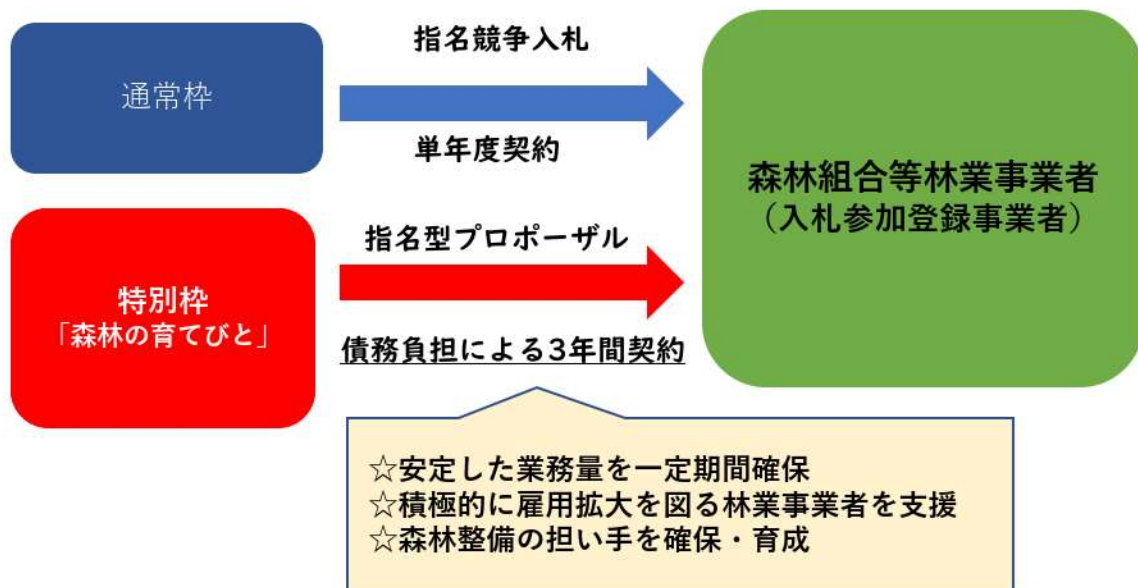
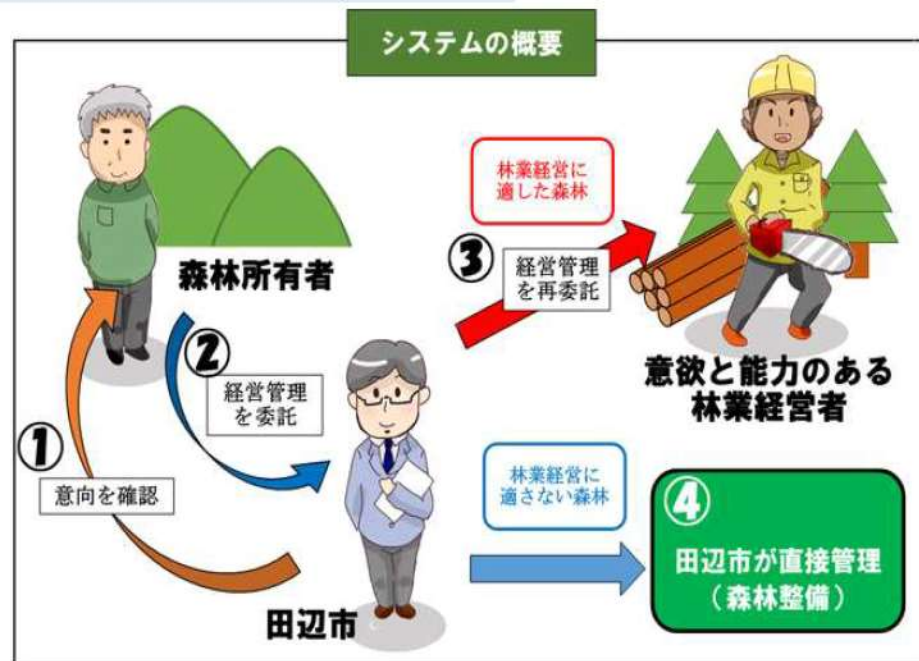
【間伐実施後の森林】



森林の育てびと育成・確保対策事業

◆森林経営管理事業を優先的に配分し、林業事業者における作業員の雇用拡大や、OJTを通じ林業従事者の育成や確保を図る

□新規雇用者に対する賃金等の直接支援ではなく、森林経営管理制度に基づき、市が林業事業者に委託している間伐等の森林整備について、指名競争入札による「通常枠」とは別に、森林作業員を育てるために必要な事業量を「特別枠」として優先的に配分することで、森林整備と人材育成の両立を図り、森を守る担い手を創出する。



□実績

令和4年度 新規 2事業体

令和5年度 新規 2事業体

□令和7年度計画

新規 3事業体

継続 2事業体

森林整備（間伐）約37ha

※上記37haは全体155haの内数

森林整備担い手確保対策事業

◆森林整備の担い手確保のため、市内の森林組合・林業事業体等に対して、林業の現場で必要な安全対策装備品等の購入や林業の技術・技能向上を図る講習会の受講等に要する経費を支援する。

□事業内容

①補助対象経費：林業事業体等が実施する安全対策装備品等の購入費

補助率：補助対象経費の1/2以内（作業員1人あたり、上限25千円）

②補助対象経費：林業事業体等が実施する緊急時対応機械の購入費

補助率：R6年度～R8年度に限り、補助対象経費の2/3以内（上限300千円）

③補助対象経費：林業の技術・技能講習の受講等に要する経費

補助率：補助対象経費の1/2以内（上限100千円）

①安全対策装備品など



安全ブーツ



安全ズボン



イヤマフ・フェイス
ガード付ヘルメット

②衛星通信機器など



衛星通信機器



衛星携帯電話

③技術講習会の受講等



救命講習



伐木等の業務に係る
特別教育

□R6年度実績

5事業体 … 衛星通信機器、無線機、防護ズボン、防振手袋ほか

林業機械生産力高度化支援事業

- ◆エネルギー効率又は生産効率等に優れた省力化機械への転換・導入を支援することにより、木材生産基盤の強化及び経営の安定化を図る。

□事業内容

- ・県の「わかやま林業機械導入事業費補助金」の交付を受け、低燃費機械や生産性向上に資する林業機械の導入に対して補助を行う。（県補助金への上乗せ補助）
- ・補助率 1/3（県1/3、事業体1/3）

□令和6年度実績

- ・3事業体
（導入機械）
プロセッサ、グラップル

【プロセッサ】



林地残材等利用促進事業

◆景観保全、山地災害防止及び林業所得向上を図るため、林地残材等を有効活用する者に対して、事業実施に必要な機械の賃借料等に要する経費を支援する。

□事業内容

補助対象経費：林地残材等を集荷・利用するための機械の回送費、賃借料

木材ステーション（林地残材等の集荷の中継拠点）として利用する土地の借上費

補助率：補助対象経費の1/3以内（上限3,500千円）

※林地残材等とは、間伐や主伐により伐採された木材のうち未利用のまま林地に放置されている切捨間伐材や末木、枝条、根元部のほか、曲がりや虫食い、腐りなどで建築材や家具などに利用ができない木材

燃料用チップ



林地残材等の活用事例



林産現場



現場での積込



木材ステーション
大型コンテナ積替



集積場



破 碎



木質バイオマス発電所

□R 6 年度実績

1 件、集荷量 約2,200 t

紀州材使用住宅支援事業

◆紀州材の利用を推進することにより、林業・木材産業の活性化及び住宅産業の振興を図るとともに、紀州材の温もりのある空間を通じて市民が森林とつながる暮らしを育む。

□事業内容

- ・和歌山県紀州材で建てる地域住宅支援事業補助金の交付を受ける木造住宅建築や内外装改修等に対して補助金の交付を行う。

補助対象者	市内に自ら居住するための木造住宅建築に紀州材を使用する者
	市内に自ら居住するための住宅の内外装材に紀州材を使用する者

補助事業の種別	乾燥紀州材の使用材積又は使用面積 (1棟当たり)	補助金の上限額 (1棟当たり)
構造材等使用事業	5立方メートル以上 10立方メートル未満	30,000 円
	10立方メートル以上 15立方メートル未満	65,000 円
	15立方メートル以上	100,000 円
内外装材整備事業	20平方メートル以上	25,000 円
※居住の用に供する部分と事業の用に供する部分とを併用する住宅の場合にあっては、事業の用に供する部分に係る乾燥紀州材は、使用材積又は使用面積に算入しないものとする。		

県補助活用事例



□R 6 年度実績

- ・ 4 2 件 (紀州材使用材積 合計707立法メートル)

民間施設木造木質化支援事業

◆紀州材の需要拡大を図るとともに、木のやさしさや温もりを感じることのできる空間を通じて、市民等が森林とつながる暮らしを育む。

□事業内容

- ・建築物木造木質化支援事業補助金（県）の交付を受ける民間施設の木造・木質化や木製品整備等に対して補助金の交付を行う。

□R6年度実績

- ・5件

木造木質化・木製品整備
紀州材使用材積 合計32m³

補助対象者	市内に所有又は管理する民間非住宅建築物について、地盤改良、木造化、木質化又は木製品整備を行う者
	市内に民間非住宅建築物を所有又は管理する者と設計業務に関する委託契約を締結した建築士事務所登録者であって、木造設計を行う者

補助事業の種類	補助対象経費	補助率	補助上限額
地盤改良事業	紀州材土中杭の購入に要する経費	県補助金額の1/2以内	補助事業を実施しようとする者（以下「事業主体」という。）1者当たり1,500千円。
木造化事業	紀州材の購入に要する経費		事業主体1者当たり5,000千円。ただし、和歌山県と建築物木材利用促進協定を締結した事業主体は、協定締結後に1度だけ7,500千円とすることができる。
木質化事業			
木製品整備事業（完成品の購入事業は除く。）			
木製品整備事業（完成品の購入事業に限る。）	木製品整備に要する経費		事業主体1者当たり2,500千円。ただし、和歌山県と建築物木材利用促進協定を締結した事業主体は、協定締結後に1度だけ5,000千円とすることができる。
木造設計事業	実施設計業務に要する経費	定額 （延べ面積1平方メートル当たり800円）	事業主体1者当たり1,000千円。

民間施設木造木質化支援事業

木造化事業



木製品整備事業



木製品整備事業



木製品整備事業



景観と安全を守る山村集落森林整備事業

◆山村地域の生活環境（景観）改善と住民が安全で安心できる暮らしを実現するため、地元団体や道路・電線等のインフラ管理者と協力し、集落の人家裏やインフラ周辺等の森林整備を実施する

□ 令和6年度事業実績

集落環境の改善が必要な箇所について、地元団体、森林所有者及び市で3者協定を締結のうえ、市が里山林0.22haを伐採し、草刈等の跡地管理を行う。

【実績】森林整備面積 0.22ha

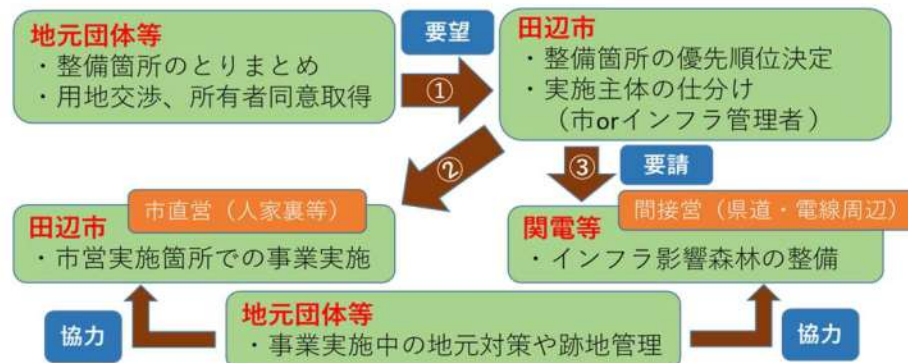
□ 令和7年度事業計画

【計画】森林整備面積 0.40ha

・森林整備前の状況



・森林整備後の状況



木のやさしさや温もりを感じることのできる空間づくり事業

◆事業概要

児童館をはじめとした教育関連施設や地域活性化施設を木に触れる拠点と位置付け、小さな子供たちを呼び込むとともに、子供から繋がるあらゆる世代の方々に、紀州材のやさしさや温もりを身近に感じることが出来る空間を創出する。

□令和5年度事業

児童館（旧市内）や地域活性化施設（龍神地域）に木製遊具を設置。

- ・ままごとキッチンカー、木の玉プール、すべり台等

□令和6年度事業

保育所等に木製のタオル掛けやロッカーを設置。

- ・タオル掛け 保育所12か所
- ・ロッカー 学童保育所4か所



木のぬくもりプレゼント事業

◆子どもの頃から身近に木のぬくもりを感じ、豊かな心を育む子育てに資するため、木製玩具をプレゼントする。

□11カ月児相談の時に、地元産材の紀州材を使用した積み木等の木製玩具のプレゼントを実施。



□R 6 年度配布実績

合計 300 人（本庁対象者 285 人、行政局管内対象者 15 人）

公共施設等の木造・木質化事業①

◆市役所新庁舎の木製什器整備

コミュニティースペース（２階～６階）、カフェスペース（３階） 紀州材使用材積 合計17.5㎡



公共施設等の木造・木質化事業②

◆季楽里龍神（宿泊施設）内の転落防止柵の改修

延長 約68メートル 紀州材使用材積 合計2.46m³

改修前



改修後



公共施設等の木造・木質化事業（小・中学校教室床等木質化事業）

◆小・中学校 教室床及び机等の木質化

令和6年度 床：小学校2校、中学校1校

机：中学校5校



稲成小学校（教室床）



新庄中学校（机）

◆小・中学校 教室床及び机等の木質化

令和7年度 計画 床：小学校2校、中学校1校

机：小学校1校、中学校1校

森林環境教育推進事業

◆森林学習や様々な森林体験を通じて、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深め、持続可能な社会の創り手を育成する

□森林学習に体験学習を組み合わせ、木工体験、植林、間伐等の森林でのフィールドワークにより、子どもたちが森林の価値を認識し、森林との関わりを体感し、森林環境との持続可能な共生社会をつくるために、自ら問いを立て、その解決に向けて思考を深めることを目指す。

□事業内容

- ・事前学習 森林の多面的機能や森林と人との関わりについて学習。
- ・インタープリターのガイドで、実際に森の中を歩きながら森林の役割や森の仕組みについて学習。
- ・その他、植樹や間伐、木工体験や製材所等見学など、様々な体験学習を通し、森林の大切さを体感できるカリキュラムの実施。

□令和6年度 実施（対象：5年生）

小学校 16校（合計301名）

（ 1泊2日 8校
日帰り 8校 ）

□令和7年度 実施（対象：5年生）

小学校 20校

（ 1泊2日 7校
日帰り 13校 ）

事業計画

年度	実施予定校数
R4年度	4
R5年度	8
R6年度	16
R7年度	20
R8年度	25

森林環境教育推進事業（事業実施状況）

事前授業



植栽体験



森林浴体験



森林ウォーク・森林観察



のこぎり体験



振り返り学習



田辺市森づくり構想の推進

環境

森林の力を未来へつなげる

適正な森林管理
(公益的機能の発揮)

森林経営管理制度の運用
(森林所有者への経営管理意向調査、経営管理(森林整備))
森林経営管理推進協定事業
林地残材等利用促進事業

天空三分の推進

よみがえりの森づくり事業
(上部三割の広葉樹への転換を支援)

世界文化遺産
文化的景観の保全

熊野古道の森保全事業(緩衝地帯の公有化・森林整備等)
森林環境教育推進事業

令和7年度

※赤字は新規実施事業

社会

森林とつながる暮らしを育む

林業担い手の
育成・強化

森林の育てびと育成・確保対策事業
森林整備担い手確保対策事業
社会保障制度等充実対策事業

学びの機会創出

森林環境教育推進事業【再】
企業の森

地域産材の
利用促進

新庁舎等公共施設の木造・木質化
小中学校普通教室の床・学校机天板の木質化
木のやさしさや温もりを感じることのできる空間づくり
木のぬくもりプレゼント事業
田辺市紀州材使用住宅支援事業
民間施設木造木質化支援事業
木材加工場用地取得事業

生活空間の保全

集落支援員の配置
里山生活空間保全事業
里地景観保全事業
景観と安全を守る山村集落森林整備事業

炭焼きの暮らし継承

紀州備長炭製炭土育成・継続支援事業
山村地域力再生事業(施設整備等)

山村の暮らし提案

移住相談窓口の設置、空き家改修支援、起業支援等

経済

森林の恵みを活かす

林業の振興

森林経営管理制度の運用【再】
(施業地の集約化、経済的付加価値の向上)
森林経営管理推進協定事業【再】
林業・木材産業構造改革事業
間伐等実施事業
恵みのやまづくり事業(植栽)
作業道開設等奨励事業、山の基盤機能回復事業
特産品生産奨励事業、山村地域力再生事業【再】
和歌山県森林クラウドシステムへの参画
木材加工場用地取得事業【再】

流通・加工等支援

林地残材等利用促進事業【再】
原木市場入札システムの運用(西牟婁共販・龍神共販)

森林空間の活用

持続可能な観光地づくり推進事業
森林環境教育推進事業【再】

令和7年度 森林環境譲与税活用事業

※赤字 新規実施事業

No	事業名等	関連課室	概 要	予算額
1	田辺市森づくり構想策定等委員会の運営	森林局	森づくり構想の施策展開等を推進し、評価検証を行う森づくり構想策定等委員会の運営	149千円
2	森林経営管理制度の推進	森林局	森林経営管理制度に基づく森林所有者への意向調査、森林調査、集積計画作成、私有林の整備及び管理	247,340千円
3	森林の育てびと育成・確保対策事業	森林局	森林経営管理事業を優先的に配分し、林業事業者における作業員の雇用拡大やOJTを通じ、林業従事者の育成や確保を図る	(22,500千円) 森林経営管理制度の推進の内数
4	森林経営管理推進協定事業	森林局	森林経営管理制度の運用に加え、地域や森林の状況に精通した森林組合をはじめとする林業事業体と連携を図り、それぞれの役割分担の下、経営管理がされていない森林の集約化及び間伐施業の更なる促進を図る	15,375千円
5	森林クラウドシステム負担金	森林局	和歌山県森林クラウドシステム参画に係る負担金	400千円
6	森林整備担い手確保対策事業	森林局	森林整備の担い手確保のため、市内の森林組合・林業事業体等に対して、林業の現場で必要な安全対策装備品等の購入や林業の技術・技能向上を図る講習会の受講等に要する経費を支援	4,200千円
7	林地残材等利用促進事業	森林局	景観保全、山地災害防止及び林業所得向上を図るため、林地残材等を有効活用する者に対して、事業実施に必要な機械の賃借料等に要する経費を支援	4,700千円
8	紀州材使用住宅支援事業	森林局	林業・木材産業の活性化及び住宅産業の振興を図るとともに、紀州材の温もりのある空間を通じて市民が森林とつながる暮らしを育むため、紀州材を利用した住宅建築や内外装改修を支援	6,000千円
9	民間施設木造木質化支援事業	森林局	紀州材の需要拡大を図るとともに、市民等が木のやさしさや温もりを感じることのできる空間を通じて、森林とつながる暮らしを育む機会を創出	7,500千円
10	木材加工場用地取得事業	森林局	地域産材（小径木）の有効活用を目的とする市営木材加工施設の用地を取得	18,494千円
11	景観と安全を守る山村集落森林整備事業	森林局	山村地域の生活環境（景観）改善と安全安心な暮らしを実現するため、地元団体や道路・電線等のインフラ管理者と協力し、集落の人家裏等の森林整備を実施	10,000千円
12	木のぬくもりプレゼント事業	子育て推進課	子供の頃から身近に気のぬくもりを感じ、豊かな心を育む子育てに資するため、11か月児相談日に紀州材製玩具のプレゼントを実施	1,169千円
13	公共施設等の木造・木質化	環境課 土木課 学校教育課	ひき岩群国民休養地周辺施設の整備 市道等への木製転落防止柵の整備 小・中学校教室の床及び机（天板）の木質化	96,800千円
14	森林環境教育推進事業	学校教育課	森林の多面的機能について学び、生活や環境、森林との関係について理解や関心を深めるため、小・中学生を対象に森林学習や森林体験等を実施（R7：小学校20校）	16,470千円
合 計				428,597千円

森林経営管理推進協定事業

森林経営管理制度の運用に加え、地域や森林の状況に精通した森林組合をはじめとする林業事業体と連携を図り、それぞれの役割分担の下、経営管理がされていない森林の集約化及び間伐施業の更なる促進を図る。

◎集約化・間伐施業を進めたい森林

- ・意向調査実施後の時間経過に伴う変化要因により、新たに発生した経営管理がされていない森林、
- ・小規模かつ一体的なまとまりのない森林 ほか

□事業内容

対象地区 市において森林経営管理法に基づく意向調査及び集積計画の作成業務を完了した地区（R7-25地区）

協定期間 協定を締結した日の属する年度を初年度として、最大3か年度を限度とする

相手方 田辺市森林整備等入札参加者名簿登録者で、協定締結の申し出を行い、審査の結果、協定締結の決定を受けた者

審査基準 (1) 森林集約面積 下限 概ね3ha
※複数の小規模森林所有者を含む集約計画である場合は、面積が下限基準未満であっても可とする場合がある

(2) 森林の状況等（以下の要件をすべて満たすこと）

- ・間伐施業の実施により、公益的機能の維持発揮が期待できること
- ・森林経営計画に含まれていないこと
- ・過去10年間に施業履歴がないこと
- ・成立本数が1ha当たり1300本以上の人工林であること
- ・境界が明確であり係争地でないこと

(3) 計画の実現性

- ・所有者の同意取得の目途が一定程度ついている
- ・協定期間内の間伐施業の実施及び完了が可能である

協定履行 (1) 林業事業体は、森林所有者の間伐施業の同意を取得し集約化を実施した後に、市に対して施業申請を行う

(2) 市は、施業申請の内容を審査し、適当と認めた場合は、当該林業事業体に対して間伐業務を委託する

(3) 林業事業体は、市から間伐業務を受託し、仕様書に基づき適切に業務を実施する

予算額 15,375千円（保育間伐 25ha）

紀州備長炭製炭士育成・継続支援事業

紀州備長炭発祥の地として守り受け継がれてきた製炭技術を伝承していくため、新規製炭士の育成及び製炭業の継続支援を行う。（財源：山村活性化基金）

□事業内容

1. 紀州備長炭製炭士育成事業費補助金 予算額 1,020千円

木炭組合等による6か月以上の研修を受け、修了後に市内で製炭業に従事する者に対して、研修期間中に必要となる生活費の一部を支援するとともに、研修生を指導する木炭組合等に対して技術指導補助を行う。

- (1) 技術習得支援（研修生） 月額9万円又は6万円、最長12か月
- (2) 技術指導補助（組合等） 日額1,500円（月額上限37,500円）、最長2年間

2. 紀州備長炭製炭業継続支援事業費補助金 予算額 1,108千円

紀州備長炭の製炭を生業とする者に対して、製炭業の継続に必要な機械等の購入費用及び炭窯の整備費用の補助を行う。

(1) 機械等導入支援

対象経費：チェーンソー、安全対策装備品等の購入費

補助率：1/3以内 ※技術習得支援の研修生等は1/2以内

(2) 炭窯整備支援

対象経費：炭窯の新築費用（ただし、県補助金の採択基準を満たす者は対象外）

補助率：1/3以内 ※技術習得支援の研修生等は1/2以内